



入園にあたって

Preparation and asking

かかりやすい感染症

■ウイルスによるもの

病名	潜伏期間	主症状	感染経路	備考	意見書
ノロウイルス	2~4日	吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、軽度の発熱。軽い風邪のような症状の場合もある。	※経口感染(生の二枚貝)	特に冬季に流行する。抵抗力の弱い幼児は、脱水症状などを起こすことがあるので注意。	○
麻疹(はしか)	10~14日	発熱、鼻水、咳、眼の充血、涙眼、熱は続き口の中にコプリック斑ができる。顔面、全身に赤い発疹。	飛沫感染	合併症を起こしやすいので治った後も安静を要する。ワクチンあり。終生免疫。	○
水痘(水ぼうそう)	2週間	頭皮、口の中、手足にぼつんと水をもった赤い発疹ができる。その後全身にでる。発熱しない場合もある。	接触感染 飛沫感染	ワクチンあり。終生免疫。	○
帯状ヘルペス		顔、胸、背中などの神経に沿って痛み、かゆみを伴い、発疹や水疱が帯状に現れる。	飛沫感染 接触感染	ワクチンなし。(事前に水痘ワクチン任意接種)	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	2~3週間	耳の下(耳下腺)顎の下(顎下腺)が腫れて痛む。初期に腹痛、嘔吐、発熱。	飛沫感染	よく似た病気に(耳の横が腫れる)ヒールズ性風邪がある。ワクチンあり。終生免疫。	○
風しん(三日はしか)	14~21日	発熱と同時に発疹。眼の充血リンパ腺が腫れる。3~4日で発疹が消える。発熱しないことも多い。	飛沫感染	ワクチンあり。終生免疫。妊婦は要注意。	○
ポリオ(小児マヒ)	3~35日	発熱、下痢、嘔吐、四肢マヒ、言語障害など。	経口感染 糞便から	不顕性感染が多い。ワクチンあり。	○
インフルエンザ	1~3日	発熱、頭痛、くしゃみ、鼻汁、筋肉痛、倦怠感、咳。	飛沫感染	ワクチンはあるが、集団接種はしない。	○
突発性発疹	10日	急に高熱が出、3~4日続く。熱が下がると同時に、全身に細かい発疹ができる。	飛沫感染	初めての熱のときが多い。6ヶ月~1歳前後の乳児だけがかかる。免疫はできない。	
手足口病	3~8日	口の中や喉の周りに水疱ができ痛み、手足に水をもった赤い発疹ができる。熱が出る場合もある。	飛沫感染 経口感染 接触感染	手、足のみに発疹のある場合もある。	
咽頭結膜炎(プール熱)(アデノウイルス)	3~9日	発熱、咽頭痛、眼の充血、目やに。3~4日で解熱。	接触感染	水、物、手指を介してうつる。	○
流行性角結膜炎(はやり目)	すぐうつる~7日	目やに、充血、涙目、耳の前のリンパ腺が腫れ、痛みがある。	接触感染	伝染力が強い。水、物、手指を介してうつる。	○
ヘルパンギーナ	2~4日	夏風邪の一種で発熱し、喉に口内炎ができて痛む。鼻水、咳はでない。	飛沫感染	4日~1週間で完治。ウイルスは喉から1~2週間、便からは数週間にわたって排出されるため登園は医師の許可が出てから。	○
流行性嘔吐下痢症(ロタウイルス)による	1~3日	嘔吐、下痢(白っぽい便)。2~7日で治まる。	飛沫感染 経口感染 糞便から	伝染力が強い。手、おまる、おしめの扱いに注意。生後6ヶ月~1歳半頃までの乳児にかかりやすい。	○

病名	潜伏期間	主症状	感染経路	備考	意見書
伝染性紅斑(りんご病)	7~10日	両頬の紅斑、四肢の紅斑性皮疹、関節炎、発熱、咽頭痛などの風邪症状。		3歳くらいの幼児から中学生に多く出る。妊婦がかかる、流産するおそれがある。	
伝染性軟属腫(水いぼ)		境界明瞭で表面につやのあるいぼ。経過は数ヶ月~数年。	接触感染	免疫ができるまで長時間かかり、その間は出沒をくり返す。	
O-157(腸管出血性大腸菌感染症)	2~14日	腹痛、下痢、血便、吐き気、嘔吐、発熱を伴う場合もある。	経口感染	感染力がふつうの食中毒菌より強く、菌がそれほど多くなくても(100個程度で)、病気を起こす。	○
RSウイルス	2~8日	主な症状は発熱、咳、鼻水、咽頭痛、頭痛、倦怠感(元気がない等)など、風邪に似た症状で肺炎を起こすなど重症化することもある。	飛沫感染 接触感染	感染力は強く、2歳までに、ほとんどの子どもが感染するとされている。	○

※嘔吐物などが乾燥してウイルスが微粒子化し、空気中に浮遊することで経口感染する場合もある。

■細菌によるもの

病名	潜伏期間	主症状	感染経路	備考	意見書
百日咳	7~10日	鼻水、くしゃみ。はじめに風邪のような咳がでて、やがて長く続くかん高い咳。呼吸困難。	飛沫感染	抗生物質を与薬すると3~4日で感染力消失。ワクチンあり。	○
溶連菌感染症	2~5日	急に高熱が出る。頭痛、喉の痛み、嘔吐。1日ほどして全身に細かい赤い発疹が出る。3~4日たつと紅い舌(イチゴ舌)になるのが特徴。	飛沫感染	抗生物質を与薬すると2~3日で治ったようにみえるが2週間ほど治癒を続けないと喉の溶連菌が再び増え伝染する。急性腎炎やリュウマチ熱といった後遺症を起こすこともある。健康保菌者も多い。	○
とびひ(膿痂疹)	4~6日	虫刺され、あせも、湿疹などからなりやすい。透きとおった水疱黄褐色のかさぶた。	接触感染	感染力が強い。免疫ができないので何回でもかかる。	

■その他によるもの

病名	潜伏期間	主症状	感染経路	備考	意見書
マイコプラズマ肺炎	2~3週間	咳、痰、発熱、頭痛、発疹腹痛。	飛沫感染	重症化することは少ない。時に髄膜炎や中耳炎の併発。	○
ぎょう虫症		肛門付近のかゆみ、不眠・不機嫌。	経口感染	人から人へすぐうつるので家族ぐるみ、園ぐるみの駆除が必要。	
あたまじらみ		頭がかゆい、頭髮に卵が付着、頭にしらみが見つかる。	接触感染	洗髪、髪を切る。駆虫にスミスリンシャンプーを使う。	